

法律科目試験 「刑事法系」 問 題

I 次の事項について、400 字以内で説明しなさい。

- ・中止行為の任意性

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く。）。

毎日遊び暮らしている甲は、遊ぶ金に事欠くようになったため、本を万引きして金に換えようと考え、客を装って、営業中の大型書店を訪れた。同店の入口は、営業時間内は常に開放されており、入口に配置されていた警備員も、一見して不審者でなければ誰でも自由に立ち入らせていた。

怪しまれることなく入店した甲は、文庫本の売場に行くと、新刊書数冊を、持参した自分の鞆に素早く放り込んだ。そして、支払をすることなく店から出た。しかし、甲の万引き行為を目撃していた警備員 X が甲の後を追い、声を掛けたため、甲は走って逃げ出した。甲はしばらく逃げたところで X に追い付かれたので、X を振り払おうと、その身体を手拳で何度も強く殴打したが、X は甲を捕えた手を離さなかった。そこに、甲の遊び仲間の乙がたまたま通り掛かったため、甲は状況を説明し、万引きした本を売って得られる収益を山分けする条件で助力を求めた。乙は了承し、甲を解放させるために、X を何度も足蹴にした。やがて X が甲から手を放したため、甲と乙は盗んだ本を持ってその場から逃走した。なお、甲と乙の暴行によって X に傷害の結果は生じなかった。